

田原市のまちづくり

3月3日(月)に開会した「田原市議会第1回定例会」の冒頭、市長は平成20年度の市政運営を明らかにする施政方針の演説を行いました。

また、同定例会では、平成20年度予算も原案どおり可決されました。今月号では、この施政方針演説【抜粋】と新年度予算、主要事業の概要をお知らせします。



本

日、田原市議会第1回定例会の開会にあたりまして、市政運営の基本方針「主要施策」について所信の一端を申し上げ、議会の皆さまならびに市民の皆さまに、「理解とご協力を賜りたいと存じます。」

国においては、5つの基本方針を掲げて、国民自らが困難を克服し、困っているときは助け合い、励ましあう「自立と共生」の考えを基本理念として、国民本位の信頼される政治、行政の実現に向けていくこの方針が示されたところであります。

また、愛知県においては、内外の経済動向や原油価格の高騰、少子高齢化など不透明感が感じられる中で、「県民の安心・安全の確保」「地域活力の維持・向上」「2010年に向けた主要プロジェクトの推進」を進むべ

き方向として、健全財政の推進、安定的な財政運営の確保を方針として予算編成がされております。

さて、本市は、温暖な気候と豊かな自然、温かい人情をまちの財産として、地域の資源を有効に活用し、農業を始めとする漁業・工業・商業・観光の活発な活動により、大きく発展してまいりました。そして、住みよいまちとして全国的な評価も得ております。このような評価も、先人の知恵と並々ならぬ努力、そしてそれを引き継いで、さらに発展を目指してこられた皆さまのまちづくりに向けた情熱とご尽力により、活力ある田原市を築きあげてこられたことによるものであります。

本市は、2030年(平成42年)ごろを目標とする将来都市像、うるおいと活力のある「ガーデンシティ」の実現に向けて、6つのまちづくり方針に基づく総合計画を策定し、平成19年度を初年度として第一歩を踏み出したところであります。この歩みを着実に進め、住みよさが実感できる豊かで美しく、誇れるまちを目指してまいります。そのためには、地域・市民・団体・企業などと連携して取り組む市民参加と協働のまちづくりが必要であると考えております。

平成20年度は、「市民の参加と協働」を基本として、総合計画の目標に向けた着実な推進と、健全で安定した財政を推進する「着実・発展型の予算」として編成をいたしました。その具体的施策の実施にあたっては、

- 1 市民の参加と協働によるまちづくりの推進
 - 2 子ども支援と少子高齢化対策の推進
 - 3 産業の振興と観光の振興
 - 4 防災対策の充実
 - 5 エコ・ガーデンシティ構想の推進
 - 6 幹線道路や生活道路の整備などの推進
- を重点事業として取り組んでまいります。

～抜粋～

施政方針につきましては、田原市ホームページに掲載しています。

<http://www.city.tahara.aichi.jp/>

